

## 令和7年度 学校評価計画表

五條市立西吉野農業高等学校No.1

教育目標	高い志をもち、広く社会や地域に貢献する自立した人材の育成						総合評価
運営方針	「不撓不屈」の校訓のもと、「土に学び土で育つ」をスローガンに定め、実学を重視した教育活動を展開する。「できないこと」が「できること」に変わる、生徒が日々成長する学校、「行きたい」「来てよかった」と思える魅力ある学校づくりを実現する。 ・主体的に学び、変化する社会に対応できる確かな学力を培う。 ・他人を思いやる豊かな心を育て、人権を尊重し、社会に貢献する精神を育む。 ・健康、安全についての知識を深め、健康保持に努めるたくましい心身を養う。						
令和6年度の成果と課題		本年度重点目標					
地元農家の協力を得て、実習を核にした実学教育の推進、校外における学習を含めた教育課程を編成した。 全国から生徒を募集しているが、募集定員を満たしていない。学校の魅力づくりや情報発信をさらに強化する。 農業の専門高校としての農業施設や設備の整備・充実が急務である。 オンラインを利用した授業のあり方についてさらなるスキルアップが必要である。		基礎学力の定着と個に応じた進路指導を実現する。 ～授業の改善・実習の充実とキャリア形成～					
		安心で安全な学校づくりに努める。 ～開発的生徒指導と豊かな心を育てる人権教育～					
		充実した学校生活を実感できる教育活動を実施する。 ～学校行事の充実と部活動の活性化～					
		保護者や地域との連携を密にする。 ～情報発信、学校評価、地元協力農家との連携～					
評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
総務	家庭や地域の関係機関との連携に向けて、具体的な取組を行う。	学校運営協議会を開催し、地域や育友会、地元協力農家との連携を密にして、広く協力と支援を求める。【目標 年2回】					
	地域社会の人的・物的な資源を積極的に教育活動の中で活用する。	こども園や高齢者との交流の機会を設ける。また、地域の農家や社会人講師の講義等を授業に取り入れる。【目標 交流年4回、社会人講師5回以上】					
	広報活動を充実させ、本校教育活動への周知と理解を促す。	ホームページ、ブログ等の定期的な更新を通して、本校の特色や魅力の発信に努める。【目標 ブログ更新週3回以上、アクセス数平均月6,000件以上】					
学習指導	各科目において基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。	基本的事項と達成目標を明確にし、学習方法についても単元・教材ごとに確認する。専門科目では、TTを導入し、きめ細かい指導を行う。【目標 単元テスト各教科学期に2回以上】					
	教員のICT活用指導力を向上する。	教員のICT活用指導力の調査について、活用80％以上にする。					
	学習指導力の向上を図る。	学習指導週間を設定し、1人3回以上の授業見学を行う。多くの授業を参観することで新学習指導要領の評価の研究を進める。					

評価項目		具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
生徒指導	規範意識の向上	高校生として当たり前のモラルを身につけさせ基本的ルール(挨拶、マナー、身だしなみ、言葉遣いなど)の指導を徹底する。【目標 出席率:毎月90%以上 特別指導10名以内】					
	いじめの防止	県いじめ防止対策基本方針に基づき、早期発見に努める。認知した場合は組織全体での対応し、各関係機関や保護者との連携を図る。【目標 年2回のアンケート実施】					
	安全教育	命の大切さを深く認識させ、災害、交通ルール、不審者対応など危機管理の意識を高め、防災避難訓練の実施を行う。【目標 避難訓練参加率100%】					
進路指導	計画的な進路指導	HRを通して、進路実現に向けた準備を計画的に行う。【目標 キャリアパスポート作成(全学年)100%】					
	自己分析の徹底	自分の性格・個性・興味・関心・価値観について知る【目標 職業適性検査受検(2年生)100%、自己分析についてのHR(全学年)100%】					
	適切な勤労観の醸成	実習や就労での体験・交流を通して、勤労観や職業観の形成を図る。【目標 記録簿の記入(2, 3, 4年生)100%】					
人権教育	人権感覚を育てる。	HR活動をとおして、人権に関する理解を深め、自尊心を高めるとともに、他人を思いやる豊かな心を養う。【目標 人権HRの実施、年間5回以上】					
	安心できる環境づくりに努める。	他分掌と連携し、生徒が安心できる環境づくりに努める。【目標 「学校は安心できる環境づくりに取り組んでいますか。」というアンケート項目への回答で、「そう思う」80%以上】					
	生徒を支援する体制を整える。	生徒観察を行い、7月までに特別な支援を要する生徒を絞り込み、三者面談等で支援についての意向を確認する。【目標 本人・保護者の意向を確認し、特別支援計画を作成する】					
保健体育	体育行事への参加推進	体育行事の内容や時期などの精査を行い、また、運営などに生徒を積極的に参加させることにより、参加意欲の推進を図る。【出席率95%以上】					
	食育指導の徹底	欠食アンケートの実施や体力テストのアンケートをもとに、食習慣の実態を把握し、関係教科や三者面談での家庭連絡などで、食育の推進を図る。【欠食率15%以下】					
	健康管理指導の徹底	家庭等と協力し、生徒の健康状態の把握や健康管理指導を行うために、健康診断結果通知や受診勧告などを積極的に行う。【受診率50%以上】					

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
第1学年	基本的生活習慣の確立	四年間の学校生活を送るための土台作りを目指し、正しい生活リズムを身に付け、欠席や遅刻のないように指導する。【出席率90%以上】					
	礼儀、マナーの習得	挨拶や服装、言葉遣い、時間厳守など生きていくために必要な力を身に付けることができるよう指導を徹底していく。【目標 年間で入室カードの記入を一人平均5回以内に収める】					
第2学年	自己管理能力の向上	自ら体調管理ができるよう指導を行うことで、円滑な学校生活を送らせる。【目標 保健室利用を一人平均3回以内に収める】					
	農家実習への適応	各農家のルールへの遵守させ基本的な礼儀作法を身に付けさせるとともに、実習を通して、継続する力を養わせる。【目標 農家実習の出席率95%以上】					
第3学年	規範意識の向上	社会人として必要な礼儀作法や規範意識を身に付けさせ、また、場をわかまえ、他者を思いやる言動ができるようにする。【目標:毎日HRで服装、挨拶礼の作法を指導する】					
	進路決定に向けた準備	進路について調べ、自己分析をして方向性を見出すことで、来年度の進路決定がスムーズに運ぶよう準備させる。【目標 進路相談を月1回以上行う】					
第4学年	進路の決定	進路実現に向け、生徒の希望に寄り添いながら進路相談、進路活動等を積極的かつきめ細やかに行う。【目標 月3回以上】					
	生活習慣の確立	就職・進学後を見据え、基本的生活習慣の確立や挨拶、マナー、身だしなみなどについての指導を徹底して行う。【目標 出席率:毎月97%以上】					
農業科	安全・安心な農場作り	増設した温室やカキ圃場を有効かつ安全に活用し、安心して実践的・探求的な学習活動を行える農場作りに努める。【目標 実習での事故0件】					
	農家実習での深い学び	農家実習後、学んだ知識や技術を毎回記録簿に整理させるとともに、思考力、表現力を育成する。【目標 記録簿提出100%】					
	地域交流の活性化	地域交流を基にした研究活動により、農業に関する課題を合理的かつ創造的に解決する力を育む。【目標 地域交流活動年間5回以上】					